

令和7年度 病虫害防除技術情報 第7号

令和7年8月15日
大分県農林水産研究指導センター
農 業 研 究 部

トビイロウンカの防除対策の徹底について

トビイロウンカは、令和元年および2年に県内各地で坪枯れが多発するなど甚大な被害をもたらしており、本年度も発生に十分注意する必要があります。苗箱施用として長期残効性のトリフルメゾピリム含有薬剤の普及が進んでいますが、早植えの水稻を中心に、苗箱施用剤の残効がなくなる時期にも差し掛かっており、今後の発生が懸念されます。

トビイロウンカは、本県の予察灯（豊後大野市三重町）において8月7～11日に4頭確認され、8月5日～12日に九州のほぼ全域でまとまった飛来が確認されています。

そこで、本県で飛来が確認された8月7～11日を起点とし、有効積算温度を元に防除適期を予測したところ、斑点米カメムシ類の防除適期にあたる8月下旬以降にトビイロウンカの防除適期が重なりました。斑点米カメムシ類は、本年度も平年より多く発生しており、8月4日には注意報を発表したところですが、そのため、本虫の防除対策が不十分な場合は、トビイロウンカの被害も加わることが懸念されます。

つきましては、航空防除及び集団防除等を含め、両害虫の防除を滞りなく実施していただきますようお願いいたします。

1 トビイロウンカ防除適期の予測

表1 予測されるトビイロウンカの防除適期(8月7～11日飛来)

地点	防除適期 (第一世代幼虫)		
国見	8/24	～	9/10
中津	8/24	～	9/9
豊後高田	8/24	～	9/9
院内	8/24	～	9/11
杵築	8/24	～	9/11
武蔵	8/24	～	9/11
日田	8/24	～	9/9
玖珠	8/26	～	9/12
湯布院	8/27	～	9/16
大分	8/23	～	9/9
犬飼	8/24	～	9/11
竹田	8/25	～	9/13
佐伯	8/24	～	9/9
宇目	8/26	～	9/12
蒲江	8/24	～	9/10

※1 飛来予測日(8月7～11日)は、JPP-NET病害虫発生予測データベース-ウンカ飛来予測システム(トビイロウンカ、(一社)日本植物防疫協会)及び気象再解析データを元に解析した。

※2 発育ステージに基づくトビイロウンカの防除適期は、飛来予測日(8月7日)を起点として、JPP-NET病害虫発生予測データベース-有効積算温度計算シミュレーションver.2及び各地点のアメダスデータ平均気温(8月13日までは本年度実測値、8月14日以降は平年値)を元に予測した。なお、予測の際に用いた有効積算温度及び発育下限温度は、表2を根拠とした。

表2 有効積算温度及び発育下限温度

ステージ	有効積算温度(日度)	発育下限温度(℃)
成虫	125	12.0
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

表3 トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月上旬 ～ 8月上旬	2頭／10株 (0.2頭／株)
8月中旬 ～ 8月下旬	10頭／10株 (1頭／株)

2 白熱式予察灯におけるトビイロウンカの発生状況

- ・ 6月15日に1頭を初誘殺。
- ・ 8月 7日に1頭を誘殺。
- ・ 8月10日に1頭を誘殺。
- ・ 8月11日に2頭を誘殺。

3 現地巡回調査におけるトビイロウンカの発生状況

(1) 7月28～31日

普通期水稻調査40圃場1圃場で微発生が確認された。

4 防除上の注意事項

- (1) 薬剤散布については、農薬使用基準（使用量、使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。

病虫害対策チームホームページアドレス

<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujoshou/>

